

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 9月29日～11月28日

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
1. 職務の理解 【基準時間6時間(うち通信上限0時間)】						
(1)多様なサービスの理解	9月29日 9:30～ 12:30 (3時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[1] 星子 邦子	セ	・介護保険サービス・・・居宅、 施設(講義) ・介護保険外サービス(講義)
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	9月29日 13:30～ 16:30 (3時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [8] 三好 雅也	セ ア	・仕事内容や現場の理解、DVDを見る。(講義) ・現職介護福祉士の一日を聞く。感想文作成(演習)
小計	6時間	時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】						
(1)人権と尊厳を支える介護	9月30日 9:30～ 14:30 (4時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・人権と尊厳及びそれを支える 介護、ICF、QOL、虐待防止、個人情報保護法について(講義) ・成年後見制度について専門家の講話。(講義)
(2)自立に向けた支援	9月30日 14:30～ 16:30 10月3日 9:30～ 12:30 (5時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・自立支援、個別ケア(講義) ・介護予防の考え方(講義)
小計	9時間					
3. 介護の基本 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】						
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	10月3日 13:30～ 14:30 (1時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護環境の理解、介護の専門性、チームケアの重要性と役割分担(講義)
(2)介護職の職業倫理	10月3日 14:30～ 16:30 (2時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団 ・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・職業倫理と介護福祉士法(講義)
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	10月6日 9:30～ 10:30 (1時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護における安全確保、感染対策、リスクマネジメント(講義)

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(4) 介護職の安全	10月6日 10:30 ~ 12:30 (2 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護職の心身の健康管理(講義) ・手洗いの方法、汚染物の処理(講義)
小計	6 時間	時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】						
(1) 介護保険制度	10月6日 13:30 ~ 16:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護保険制度創設の背景及び目的、動向(講義) ・介護保険の仕組み、認定手順、財源(講義)
(2) 医療との連携 とリハビリテー ション	10月7日 9:30 ~ 12:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・医療との連携 医行為と介護、リハビリテー ションの理念(講義)
(3) 障害者自立支 援制度及びその他 制度	10月7日 13:30 ~ 16:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・障害者福祉制度の理念、I C F(講義) ・障害者自立支援制度の仕組 み、申請から支給決定 ・権利を守る制度(講義)
小計	9 時間	時間				
5. 介護におけるコミュニケーション技術 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】						
(1) 介護における コミュニケーション	10月13日 9:30 ~ 12:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[1] 星子 邦子	セ	・コミュニケーションの意義、 目的、役割と技法(講義) ・コミュニケーションの実際 (講義)
(2) 介護職におけ るチームのコミュ ケーション	10月13日 13:30 ~ 16:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護記録のいろいろと適切な 記録の書き方(講義) ・カンファレンスの重要性と内 容、進行について(講義)
小計	6 時間	時間				
6. 老化の理解 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】						
(1) 老化に伴うこ ころとからだの変 化と日常生活	10月14日 9:30 ~ 12:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[3] 豊野 恒子	ウ	・老年期の発達と老化に伴う心 身の変化の特徴・・・DVDを 利用(講義) ・老化に伴う心身の機能の変化 と日常生活への影響(講義)

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(2) 高齢者と健康	10月14日 13:30～ 16:30 (3 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[3] 豊野 恒子	ウ	・高齢者の疾病と日常生活の留意点・・・DVD(講義) ・高齢者に多い病気と日常生活の留意点(講義)
小計	6 時間	時間				

7. 認知症の理解

【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】

(1) 認知症を取り巻く状況	10月20日 9:30～ 10:30 (1 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[4] 河島 京子	ウ	・認知症を取り巻く状況と認知症ケアの理念(講義)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	10月20日 10:30～ 12:30 (2 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[4] 河島 京子	ウ	・認知症の概念、原因疾患と病態、ケアのポイント(講義)
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	10月20日 13:30～ 15:30 (2 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[4] 河島 京子	ウ	・認知症の中核症状とBPSD、その対応と進行に合わせたケア(講義)
(4) 家族への支援	10月20日 15:30～ 16:30 (1 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[4] 河島 京子	ウ	・家族への認知症受容過程での援助とレスパイトケア(講義)
小計	6 時間	時間				

8. 障害の理解

【基準時間3時間(うち通信上限1.5時間)】

(1) 障害の基礎的理解	10月24日 9:30～ 10:30 (1 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・障害の概念とICF(講義) ・障害者福祉の基本理念(講義)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等	10月24日 10:30～ 11:30 (1 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・身体障害、知的障害、精神障害その他機能障害について医学的理解と支援の基礎知識(講義)
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	10月24日 11:30～ 12:30 (1 時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・家族への支援と介護負担の軽減(講義)

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
小計	3時間	時間				
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 【基準時間75時間(うち通信上限12時間)】						
I 基本知識の学習 (10~13時間)						
(1) 介護の基本的な考え方	10月24日 13:30~ 16:30 (3時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・理論に基づく介護、ICFの視点からの生活支援、法的根拠に基づく介護(講義)
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	10月27日 9:30~ 11:30 (2時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・学習と記憶、感情と意欲の基礎知識、自己概念といきがい老化や障害を受け入れる適応行動、阻害要因(講義)
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	10月27日 11:30~ 16:30 10月28日 9:30~ 10:30 (5時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・解剖学的基礎知識、ボディメカニクス、心と体の一体的な捉え方、利用者の変化の気づき(講義)
I計	10時間	時間				
II 生活支援技術の講義・演習 (50~55時間)						
(4) 生活と家事	10月28日 10:30~ 14:30 (3時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[5] 塩永 信子	ア	・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎知識と生活支援(講義)
(5) 快適な居住環境整備と介護	10月31日 9:30~ 16:30 (6時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・居住環境整備と介護(講義)
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10月28日 14:30~ 16:30 11月3日 9:30~ 10:30 (3時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [5] 塩永 信子	セ ア	・整容の基礎知識と支援、(講義・演習)
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	11月3日 10:30~ 16:30 11月10日 9:30~ 10:30 (6時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[5] 塩永 信子 [9] 三浦 匠成	ア ア	・利用者と介護者、双方に安全な移動、トランスファーの基礎と応用。ボディメカニクス、杖歩行(講義・演習)
(4)~(12)	11月4日 9:30~ 15:30 (5時間)	時間	熊本県社会福 祉事業団・ 会議室(30人)	[2] 古澤 康子	セ	・福祉機器のいろいろとまとめ(講義)

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11月10日 10:30～ 16:30 11月11日 9:30～ 10:30 (6時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [6] 山田 純子	セ ウ	・食事に関する基礎知識、咀嚼嚥下のメカニズム、誤嚥性肺炎の予防(講義) ・お互いに食事介助(演習)
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11月11日 10:30～ 14:30 (3時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [6] 山田 純子	セ ウ	・睡眠についての基礎的理解と安眠の工夫(講義) ・安楽な体位・褥瘡予防(講義・演習)
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11月14日 9:30～ 16:30 (6時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [7] 村上 利栄	セ ウ	・排泄の基礎知識、排泄の環境整備と排泄用具の活用、オムツは最後の手段(講義) ・排泄ケアを受ける利用者の心理的負担、尊厳(講義・演習)
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11月17日 9:30～ 16:30 11月18日 9:30～ 16:30 (12時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [8] 三好 雅也 [10] 松本 聡	セ ア ア	・入浴・清潔の基礎、楽しい入浴のために ・全身清拭と部分清拭 ・様々な福祉用具(講義・演習)
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	11月11日 14:30～ 16:30 11月21日 9:30～ 12:30 (5時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・終末期の観察と支援 ・最期が近づいた時の観察とケア、高齢者の自然死 ・介護従事者の基本的態度(講義)
II計	55時間	時間				
III 生活支援技術演習						(10～12時間)
(13) 介護過程の基礎的理解	11月21日 13:30～ 16:30 (3時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・介護過程の目的・展開、チームアプローチ(講義)
(14) 総合生活支援技術演習	11月24日 9:30～ 16:30 11月25日 9:30～ 10:30 (7時間)	時間	熊本県社会福祉事業団・会議室 (30人)	[2] 古澤 康子 [8] 三好 雅也	セ ア	・各グループで事例に対して介護計画を立案、それに対してケアの実施。介護技術の最終チェック(講義・演習)
III計	10時間	時間				
小計	75時間	時間				

(別紙様式4)

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
10. 振り返り 【基準時間4時間(うち通信上限0時間)】						
(1) 振り返り	11月25日 10:30～ 15:30 (4時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・ 実習を終えての発表 ・ 根拠に基づくケアと今後 に向けての研鑽(講義)
(2) 就業への備え と研修終了後にお ける継続的な研修	11月25日 15:30～ 16:30 11月28日 9:30～ 12:30 (4時間)	時間	熊本県社会 福祉事業団・ 会議室 (30人)	[1] 星子 邦子 [2] 古澤 康子	セ セ	・ 就業準備と今後の継続的 研修の必要性 ・ Off-JT、OJT等 の説明
小計	8時間	時間				
合計	134時間	時間				

実習(希望者のみ)

項目	実習日時	実習場所	担当講師	要件	実施内容及び実施方法
実習	11月20日 9:00～17:00	別紙様式6のとおり	[2] 古澤 康子	セ	施設実習

修了評価 【基準時間1時間以上】						
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】 氏名	要件	
修了評価	11月28日 13:30～ 14:30 (1時間)	/	熊本県社会福祉 事業団・ 会議室 (30人)	[2] 古澤 康子	セ	・ 筆記試験による

注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数(科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする)を記載する。

注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表(別紙様式5)に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。